

「改訂版 化学基礎 教授資料」 (化基319) 訂正のお願い

常日頃は弊社書籍をお使いいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、大変恐縮に存じますが、本書に下記の誤りがございました。心よりお詫び申し上げますとともに訂正内容についてご報告させていただきます。

誠に恐れ入りますが、ご指導の際にはご留意を賜りますようお願い申し上げます。

不備を残しまして、ご迷惑をおかけいたしますこと、重ねてお詫び申し上げます。

訂正箇所		原文	訂正文
頁	行		
7	表A	「 <u>希ガス (貴ガス)</u> 」と両方を併記する。	「 <u>貴ガス (希ガス)</u> 」と両方を併記する。
37	5	...大理石にはC, <u>O</u> が含まれることがわかる。	...大理石にはCが含まれることがわかる。
64	左段15	なお、静電気については中学理科では、 <u>1分野の電流の箇所</u> で扱っている。	なお、静電気については中学理科で <u>学習</u> している。
121	下表	(リチウムイオン電池の「正極」) $\text{Li}_{1-x}\text{Co}\underline{\text{C}}_2$	$\text{Li}_{1-x}\text{Co}\underline{\text{O}}_2$
174	右段3	よって、 <u>炭酸ナトリウム</u> の純度は、	よって、 <u>炭酸水素ナトリウム</u> の純度は、

※p.7 以外に記載されている「希ガス」も「貴ガス」に変更となります。

※お持ちの刷では、上記の訂正内容が修正済みの場合がございます。

## 記述の更新等に関するお知らせ

2019年5月20日に国際単位系（SI）が改定されたことを受け、下記の記述の更新がございます。ご指導の際にはご留意を賜りますようお願い申し上げます。

頁	行	更新前	更新後
52	左段 16	現在は別の方法で測定されていて、 $e=1.602176565(35)\times 10^{-19}$ C である。	現在は、 $e=1.602176634\times 10^{-19}$ Cと定義されている。
82	35	A アボガドロ数と物質質量 ●アボガドロ数 $^{12}\text{C}$ 原子の 12 g の中 にある $^{12}\text{C}$ 原子の数 ( $6.02\times 10^{23}$ )。 ●物質質量 (略)	A 物質質量とアボガドロ定数 ●物質質量 (略) ●アボガドロ定数 1 mol当たりの粒子 の数 ( $6.02\times 10^{23}$ /mol) 。
84	24	参考 ●物質質量	※項目全体を削除（モルの定義が改定されたため）
86	左段 31	解説 原子量の基準を変えると、変化する定数があるか	※項目全体を削除（モルの定義が改定されたため）
86	右段 7	参考 アボガドロ数の測定法	※項目全体を削除（モルの定義が改定されたため）
87	右段 10	<u>0.012 kg (12 g) の炭素 12 (<math>^{12}\text{C}</math>) の中に存在する原子と等しい数の単位粒子を含む系の物質質量を 1 mol (1 モル) とする。</u>	<u>6.02214076<math>\times 10^{23}</math>個の単位粒子を含む系の物質質量を1 mol (1モル) とする。</u>
	右段 36	ちょうどファラデー定数が $9.64853365\times 10^4$ C $\cdot$ mol $^{-1}$ で表されるのと同じである。	ちょうどファラデー定数が $9.648533212\times 10^4$ C $\cdot$ mol $^{-1}$ で表されるのと同じである。
	右段 38	アボガドロ数は、上の 1 mol の定義にある $^{12}\text{C}$ の 12g 中に含まれる炭素原子の数である。これは、1 原子質量 <u>(<math>1.660538921\times 10^{-24}</math> g) の数値の逆数になる。</u>	※文章全体を削除（モルの定義が改定されたため）
87	右段 41	解説 モル質量	※項目全体を削除（モルの定義が改定されたため）
126	右段 18	よく、1 A (アンペア) の電流が 1 秒間流れると 1 C (クーロン) の電気量であるという定義が記載されているが、このことを用いて…… (以下略)	1 A (アンペア) の電流が1秒間流れたときの電気量は1 C (クーロン) である。しかし、このことを用いて…… (以下略)

128	左段 2	現行の国際単位系 (SI) の原典は国際度量衡局が <u>2006 年 4 月</u> に発行したフランス語および英語の文書第 <u>8 版 (2006)</u> である。	現行の国際単位系 (SI) の原典は国際度量衡局が <u>2019年5月</u> に発行したフランス語および英語の文書第 <u>9版 (2019)</u> である。
	左段 4	日本語版は下記の文献に記載されている (表の①～⑤はこれらの出典)。 ① (略) ② (略) ③ (略) ④ (略) ⑤ (略)	※文章全体を削除 (SI 基本単位の定義が改定されたため)  ※以下, 表タイトル横の①～⑤を削除。
	左段 32	<SI 基本単位の定義>	※表全体を削除 (SI 基本単位の定義が改定されたため)
129	右段 17	参考 基本単位 (キログラム, モル) の定義が変わる?	※項目全体を削除 (キログラムとモルの定義が改定されたため)
188	右段 2	●原子量の基準	※項目全体を削除 (モルの定義が改定されたため)

※お持ちの刷では, 上記の更新内容が修正済みの場合がございます。

以上